

保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和2年12月25日 No.14
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

本日で2学期も終わりとなり、まもなく新しい年を迎えます。

今年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年間でした。

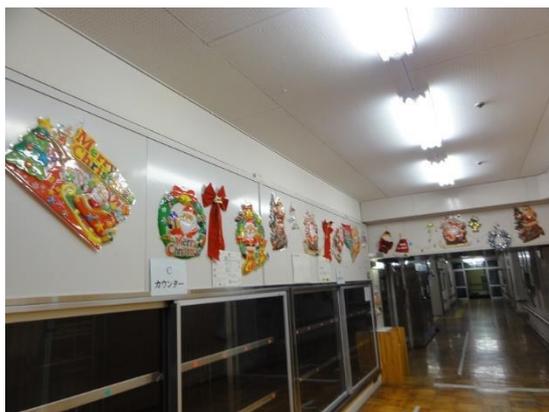
多くの府立学校で臨時休校措置が取られている中、本校も臨時休校となりましたが、感染経路が不明な場合も多く、リスクはどこに潜んでいるかわかりません。かかりたくてかかる人は誰もいません。感染予防に努めていても、感染してしまうこともあります。今回患された本人やそのご家族に責任はないということへのご理解を改めてお願いします。皆で一刻も早い回復を願っています。

冬休み中も各ご家庭におかれまして、体調には十分お気を付けいただき、良い年をお迎えください。

● クリスマス給食について

給食室は12月初日からクリスマスの装飾で彩られ、とても華やいだ雰囲気になっています。24日(木)のクリスマスイヴの日は、「ごはん・牛ステーキ・ポテトサラダ・オニオンスープ・クリスマスデザート」のクリスマスメニューでした。

毎年恒例となっている給食室前のサンタさんが今年も登場してくれました。今年は密を避けるため、児童生徒が給食を取りに行けないので、サンタさんが教室をまわり、みんなにメリークリスマスを伝えてくれました。



● 冬休み中の新型コロナウイルス感染症に関する連絡について

皆様が罹患されないことを願っておりますが、もし冬休み中にPCR検査を受けることになりましたら、配付している「校長室だより12号・13号」に記載の連絡先までご連絡をお願いします。またPCR以外でも何か緊急の事がありましたら、ご連絡ください。(時間帯や状況により、対応できないことがありますのでご了承ください)

● 今年もありがとうございました

「今年の漢字」第1位は「密」。「密」という漢字は通常、きめが細かい、すきまもなく触れあっている、親しい、といった意味合いで使われます。「密」は、これまで支援教育が大切にしてきた行動様式でした。したがって、この「密」を避けることは、とても大変なことでした。一日も早く「密」でいられる世の中に戻ってほしいものです。

現在も新型コロナウイルス感染症が広がっています。「密」を避ける行動様式は、しばらく続きそうです。引き続き感染防止に努め、一人ひとりが輝ける学校であるようにしていきたいと考えています。

子どもたちや保護者の皆さまとは、身体の距離は「密」を避けながらも、心の距離は「密」にして連携を図っていきたくと思っています。来年も、ご協力よろしく願いいたします。

今年も、本当にありがとうございました。少し早いですが、来年が皆さまにとって、実り多き一年であるよう祈っております。